

# 水道会計の決算に 異議あり!

平野議員が  
次のように  
反対討論を  
しました。

## 毎年、約10億円の實質利益

日本共産党は「平成22年度別府市水道事業決算の認定」に反対しました。

平成22年度の純利益は約2億9千万円、経費に計上されているが現金の支出はない減価償却費などが約7億円で、實質の利益は約10億円と、あいかわらず「もうけ過ぎ」だからです。

この「もうけ過ぎ」の原因は、1トンあたり146円78銭の原価でつくった水を、161円28銭で市民に売り、1トンあたり14円50銭の利益をあげているからです。その結果、平成12年度末には約70億円あった借金残高は54億円で減り、さらに約16億6千万円の内部留保金をもつに至りました。

### 【水道事業決算の概要】(H22年度)

総収益	24億9490万円
総費用	22億0249万円
建設改良事業費	9億2944万円
新たな借金	1億円
過去借金の返済	2億6000万円
総配水量	1797万トン
水漏れ量	260万トン
原価(トン当たり)	146円78銭
単価(同)	161円28銭

## 260万トンの水漏れ

また、今回の質疑を通じて、平成22年度には約260万3000トンの水が水漏れしていることが明らかになりました。1トンあたりの原価は146円78銭ですから、3億8466万円もかけてつくった水が地下に漏れているのです。

この主な理由は明らかで、大正6年創業で戦災も受けていない、そのため施設が耐用年数を大幅に超えて老朽化しているからです。

### 経営審議会の提言も無視

問題は、こうした老朽施設の更新と耐震補強などの事業費に必要な財源をどこに求めるのかであります。平成15年には「水道事業経営審議会」が設置され、この答申に基づく行財政改革が行われておりますが、同時にこの審議会からは、次のような提言もされました。

「大正6年からの時代背景を考えたとき、事業のコストを市民の皆様に依存してよいのかが問われる」・・・  
「公費負担については、災害時などに備えるため公費負担のあり方を議論し、そのうえで料金による負担を求めるという考え方に立つべきである」・・・  
などの提言です。

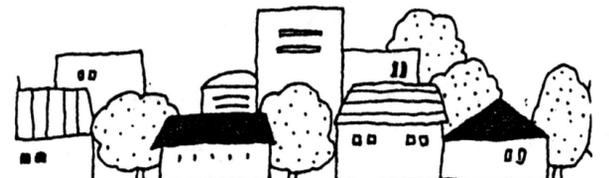
しかし浜田市長はこの指摘を無視して、「古い施設の更新費用も災害対策費も水道料金に転嫁して、市民に負担してもらう」という考えに固執しています。



日本共産党 別府市議団  
**げんきコース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No.481  
2011.9.25



# 市が出すべきお金も出さず 水道料金に上乘せ！



## 国の指導も無視

市は「水道事業は独立採算制が原則だから」と言います。しかし国は、「料金に転嫁すべきでない費用は一般会計からの繰り出し」を認め、その繰り出しの基準を毎年通知してきています。何が「料金に転嫁すべきでない費用」かという点、消火栓や水道局職員の子ども手当の費用、さらに、水源開発や災害対策、簡易水道の建設改良事業に要する経費などです。しかし、別府市が一般会計から出しているのは、消火栓と子ども手当など、わずかな金額だけです。つまり、大正時代からの古い施設の更新費用や、いつ起こるかかわからない災害対策費まで、今の市民に負担させているのです。これは不当な「上乘せ」です。

## 水道料金の値下げと 共同温泉への支援を

一般会計から出すべきものを出し、かつ労働生産性をさらに向上させるならば、水道料金の値下げは可能です。

今回の議会でも建設水道委員会で、「市有区営温泉の水道料金に支援を」という声が出ました。これも日本共産党議員団が繰り返し求めてきた問題です。日本共産党が提出した平成22年度予算要求についての浜田市長の回答は、「経営が苦しい区営温泉は・・・入浴者を増やす工夫や入浴料の見直しこそが存続への道筋」と書いてあります。

「市民の目線」を標榜しながら、実際は「行政の目線」が貫かれた水道事業決算。このような決算を認めることはできません。

## 国民健康保険税と同じ

国民健康保険会計でも、別府市は長いあいだ、一般会計が負担すべき財政安定化支援金の市負担分を出さないまま、国保税の大幅値上げを強行しました。水道会計も同じです。一般会計から出すべきお金を出さないまま、平成10年度には平均40%の料金値上げを強行し、それ以降は毎年10億円の実質利益という「儲け過ぎ」になっているのです。日本共産党議員団は、こうした問題点を繰り返し指摘してきました。その結果、浜田市政が作成した水道中期計画では「平成24年度までに最大18.3%の料金値上げもありうる」と書いてありましたが、現在では「値上げはしない」と答弁せざるを得ませんでした。

